

● 合同学習 (※尚徳大学受講生であればどなたでも受講可能)

【開催時間】午後1時30分～午後3時00分 【会場】鳥取市文化ホール

開催日	内容	講師
第1回 4月16日(火)	「笑いは人生の宝」お話とちょこっと落語と踊り	落語家 六代目 桂文吾
第2回 8月6日(火)	人権セミナー+ミニコンサート「本当の幸せとは」	歌手 Paix2 (ペペ)
第3回 11月19日(火)	ゴジラの新たな聖地「伊福部昭資料館」設立のお話	陶芸家 伊福部 玲

■ 第1回合同学習について

全講座共通の講座の諸注意等は第1回合同学習の際に行いますので、出来る限りご参加ください。

日時：4月16日(火)午後1時30分～午後3時00分 (開場時間：午後0時45分)

会場：鳥取市文化ホール

持ち物：受講決定通知のはがき (入場券となります)

※ 第1回合同学習では受講料の徴収は行いません。お支払いは受講講座の第1回目をお願いいたします。

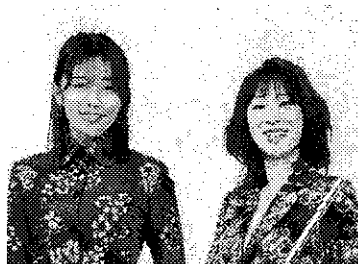
※ 駐車場は台数が限られますので、バス等の公共交通機関をご利用ください。

・ 合同学習 講師プロフィール



【第1回】桂 文吾 (かつら・ぶんご)

京都市出身、米子市在住。昭和27年15才で五代目桂文吾の弟子になり、六代目桂小文吾を名乗る。宝塚若手落語会、三越新人落語会等に出演、少年落語家として頑張るが、昭和32年20才の時、落語界をはなれて宝塚新芸座の座員になり、役者として舞台、テレビ、映画に出演。その後、自分の芸道に行き詰まり劇団を退団、芸能界を引退。昭和40年28歳の時に縁あって山陰に移住、ある会社に勤務。63歳で退社。その後、平成13年頃より、上方落語の壺家と交流を図り、山陰の壺家として復帰する。米子市児童文化センター落語クラブ講師。NHK鳥取放送「桂小文吾の出前落語」、中海テレビ「桂小文吾の落語会」出演。倉吉豊田亭にて落語寄席に出演。夜見町迎接待院ワンコイン落語寄席を開催。又、桂文吾の事を書いた本『壺家根問・雷門小福と桂小文吾』が発売。シニア劇団「笑劇座」座長。令和4年6月に、六代目桂文吾を襲名。



【第2回】Paix2 (ペペ)

倉吉市出身のManamiと琴浦町出身のMegumiによる女性歌手デュオ。保護司。Paixは、フランス語で「平和」の意味。二人なので二乗しPaix2(ペペ)と呼ぶ。NHK教育番組のテーマ曲や、社会を明るくする運動の応援メッセージソングを発表する等、多彩な活動が目される。2002年以降、矯正施設でメッセージコンサートを数多く行っているため、「受刑者のアイドル」と呼ばれる。著書には、NHK教育番組のテーマ曲と同題「 SAY いっぱいをありがとう～塀の中から響く歌声」(実業之日本社)ほか。2014年9月1日、法務省より保護司に任命される。2015年4月22日、法務省矯正支援官を委嘱される。法務大臣表彰、防衛大臣表彰受賞、作田明財団より「社会貢献優秀賞受賞」、矯正局長表彰、管区長表彰、日本BBS連盟会長表彰受賞。



【第3回】伊福部 玲 (いふくべ・れい)

父は伊福部昭(作曲家)、母は元舞踊家 勇崎愛子の長女。18歳から父の筆耕(ひっこう)を行う。学習院大学卒業後、自宅庭に窯(かいはう)。その後、東丹沢に窯(あながま)を築窯(ちくよう)。明治初めまで千年以上、因幡一宮、宇倍神社の社家をつとめた伊福吉部(いほきべ)にちなみ、五百城窯(いほきがま)とする。鳥取市河内在住。

お問合せ

麒麟のまちアカデミー事務局 (鳥取市文化センター内)

〒680-0841 鳥取市吉方温泉三丁目 701

TEL(0857)27-5181 FAX(0857)27-5154



公式ホームページ

